



AOS Japan Summer Meeting

6.19.2011 神奈川県歯科医師会館

<例会スケジュール>

10:00~ Bone Level Implant System 概要&臨床症例 (模型実習付き)

Dr.高橋 恭久 & 柴垣 博一

この度ストローマン社よりボーンレベルインプラントが日本で発売になりました。ストローマンインプラントは、1994年にTPS表面性状からSLA表面性状にかわり劇的にインプラント表面と骨との親和性が向上し、より短時間で骨との生着が得られるようになりました。その特徴ある表面性状を同じにしてティッシュレベルインプランとボーンレベルインプラントが揃うことでより臨床の幅が広がると考えられます。

そのシステムの概要と使用方法を詳細について、高橋&柴垣でお話します。

12:30~ Lunch Break

13:30~ 『ケースレポート: Bone Level Implantを用いた症例』

Dr.榊原 毅

Bone level implant を埋入し、最終補綴まで行ったケースが数症例があります。国内での認可もおりてこれからお使いになる先生方に何か参考になればという事でこれらのケースを報告、使用した感想などを発表させていただきます。

14:00~ 『Bone Level と Tissue Level の前歯部症例を比較して』

Dr.大殿 浩晃

Bone Level & Tissue Level Implant を比較して、審美エリア症例における、それぞれの利点・欠点や気が付いた点などを比較しながら症例報告を行いたいと思います。

14:30~ 『カルシテックインプラントを使用したインプラント治療』

Dr.林 健一郎

インプラントフィクスチャーは、大きく分けてチタンインプラント またはHAインプラントに大別される。私は、インプラントを行う際に治療期間を出るだけ短く、そして、患者さんには出来るだけ外科的侵襲を与えないで済む様に、必要に応じてHAコーティングを施されたカルシテックインプラントを使用しています。今回は、どのようなケースでこのカルシテックインプラントを使用するか、概要をお話ししたいと思います。



15:00~ Coffee Break

15:15~ 『上顎に HA Implant(SPLINE) 下顎に(Straumann)を
計画しているケース』 Dr.溝呂木 文行

15:45~ 『イージー、イージー、イージーグラフト』
~海外最新情報 ノーメンブレン ボーングラフト材を用いた一症例~
Dr.木原 和喜

ソケットプリザベーションと嚢胞摘出後の骨の欠損に対し、DS社（スイス）のグラフト材を用い、同部位にインプラント埋入し、9ヶ月経過の中間報告をいたします。症例の予後は目を見張るほど良好で、今まで、ボーングラフトに手を出しにくいなと感じておられる先生方にもお勧めのマテリアル

16:15~ 『咬合挙上を必要とする症例で考慮すべき咬合のポイント』
Dr.清水 真一郎

臨床において補綴するためのclearanceが極端に不足している症例にときどき遭遇する。対合歯を調整する、骨を削る などの局所的な対応で何とかなる場合はいいのだが、咬合挙上を行って全顎的な対応をせざるを得ない場合もある。

咬合挙上といえば単に上下顎間にスペースを作ることにように解釈されがちであるが、安易に実践してみると苦戦することが多い。その背景には咬合挙上イコール咬合再構成という認識が不足している現実があるのではないだろうか。今回はある咬合崩壊寸前の症例を通じて咬合挙上において考慮すべき咬合のポイントを整理してみたい。

16:45~ 総括 Dr.高橋 恭久

17:00~ 閉会

17:30~ コンセンサス会議 生香園 新館



■生香園 本館

所在地：神奈川県横浜市中区相生町 5-8 0

TEL：045-651-5152 FAX：045-651-5152

営業時間

11：30～21：30 (ラストオーダー21：30)月～土

11：30～21：00 (ラストオーダー21：00)日・祭日

■生香園 新館

所在地：神奈川県横浜市中区太田町 5-5 6

TEL：045-681-4121 FAX：045-681-4121

営業時間

11：30～21：30 (ラストオーダー21：30)月～土

11：30～21：00 (ラストオーダー21：00)日・祭日

みなとみらい線馬車道駅より徒歩2分

横浜市営地下鉄関内駅より徒歩4分

JR関内駅北口より徒歩7分、桜木町駅より徒歩7分